

## [報告]

## 平成 25 年度全国共同利用情報基盤センター顕彰について

第 21 回全国共同利用情報基盤センター長会議において、東北大学サイバーサイエンスセンター大泉健治共同研究支援係長に、平成 25 年度全国共同利用情報基盤センター顕彰「功績賞」を授与することが決定されました。本賞は、全国共同利用情報基盤センター及び国立情報学研究所の運用に顕著な貢献があった者に授与されるものです。

大泉健治氏は平成 7 年に東北大学大型計算機センターに採用となり、その後 18 年の永きにわたり全国共同利用の大規模計算システムの導入、運用管理等に多大な貢献をされてきました。

同氏は、システムの運用管理に従事するとともに、利用者である研究者からのプログラムに関する相談対応や利用者講習会の講師を長年努めており、特にサイバーサイエンスセンターがシステムの効率化を図るために実施している「プログラム高速化支援業務」にも中心的な立場で従事しています。

さらに、平成 22 年には、その経験を見込まれ、文部科学省研究振興局情報課にて日本における HPCI 整備を担当し、理化学研究所の「京」や情報基盤センター群のスーパーコンピュータから構成される我が国の高性能計算基盤の完成に大きく貢献しました。

以上のように、長年にわたり全国共同利用を推進し、情報基盤サービスの管理・運用に多大な貢献をしていることが、今回の受賞に至った理由となっています。

授賞式は、昨年 11 月 29 日（金）に開催された第 22 回全国共同利用情報基盤センター長会議・第 12 回学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点合同懇親会の冒頭で行われ、大泉健治係長他 5 名（北大・東京大・名古屋大）の受賞者の方々に表彰状と副賞（楯）が、手渡されました。



## 『受賞者のコメント』

東北大学情報部情報基盤課 大泉 健治

栄誉ある賞をいただき大変光栄に存じます。この受賞は、ひとえにシステム運用に関わるスタッフをはじめシステムをご利用くださる皆様のご指導とご支援によるものと心より感謝申し上げます。これを機に、情報基盤サービスの運用・管理業務に一層精進し、研究成果の創出に、また計算科学技術の発展につながるよう微力ながら尽力をいたす所存でございます。どうもありがとうございました。